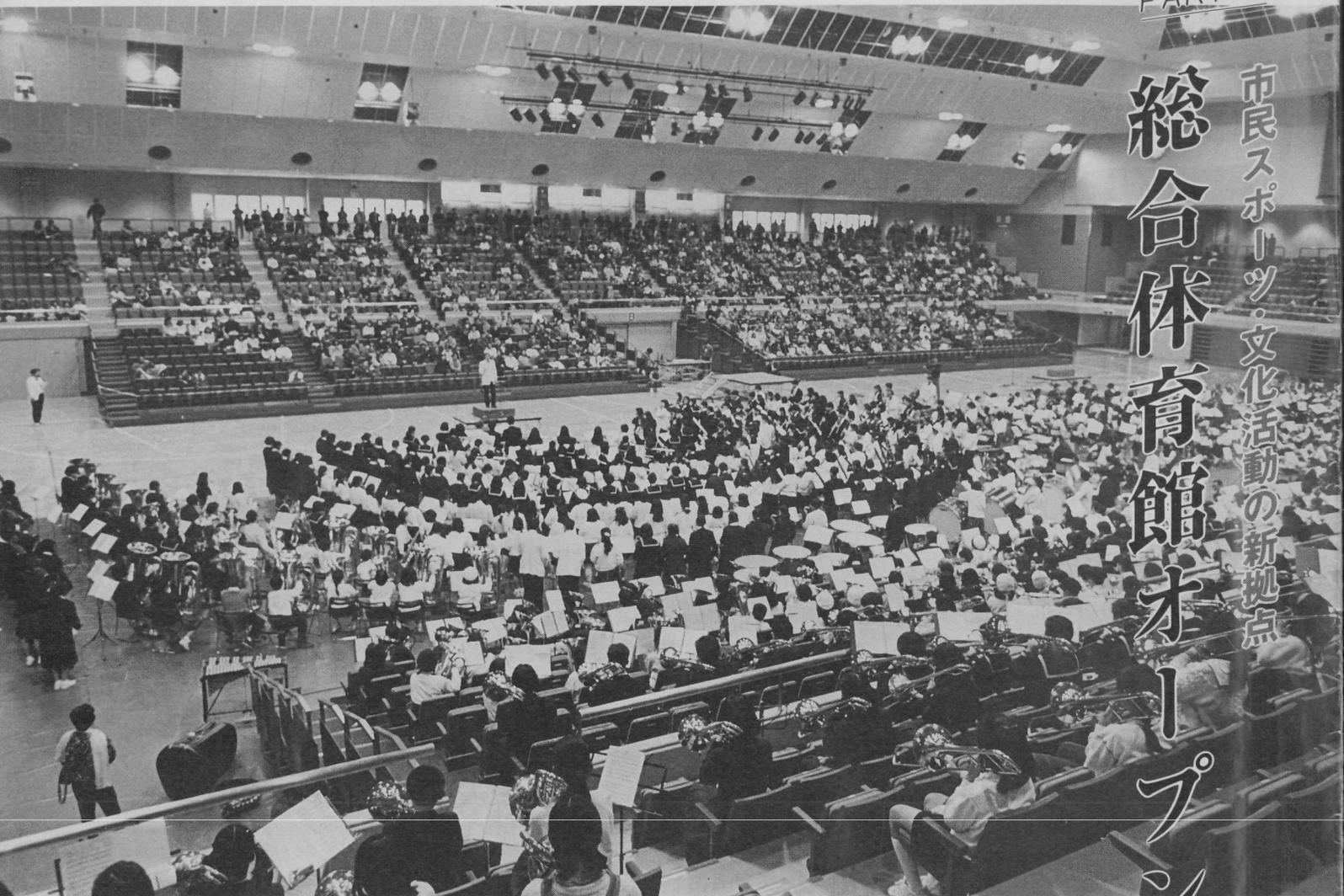


Photo ふなばし

とくしゅう
PART 1



総合体育館オーブリン

市民スポーツ・文化活動の新拠点

総合体育館の落成を記念して1月30日にメインアリーナで開催された「千人の音楽祭」



とくしゅう
PART 2

全国高校駅伝競走大会で

市船女子陸上部が都大路を快走

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- WE ARE IN FUNABASHI
- アトリエ訪問 ● サークル通信

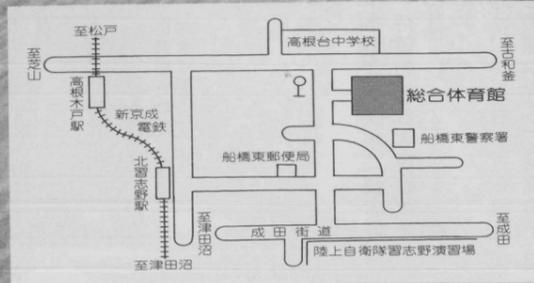
まちなかの文化財／ふなばしの民話
ペットインタビュー

vol. 59

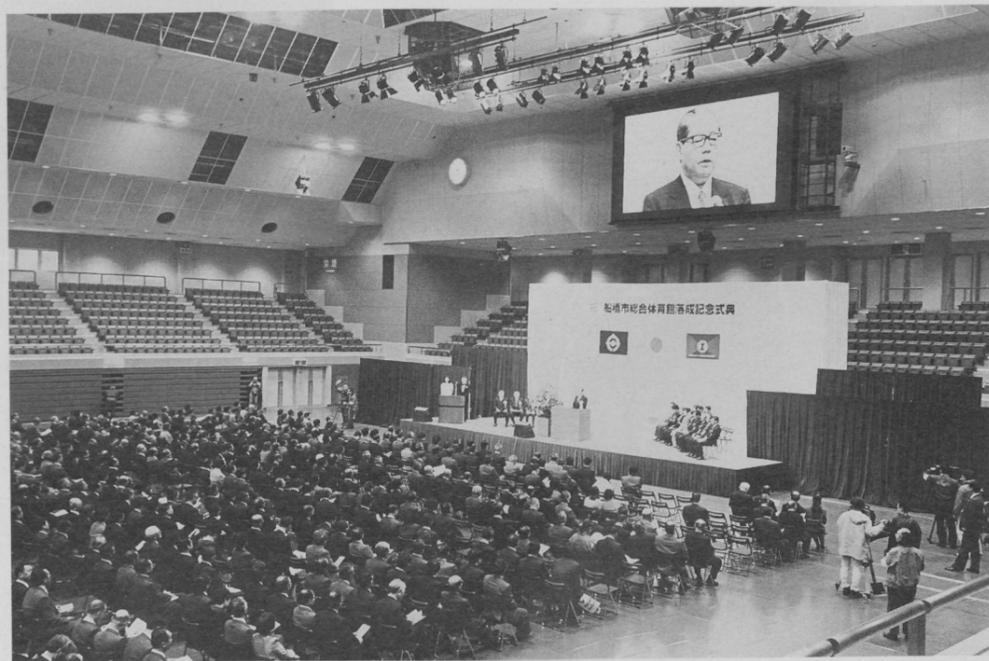
広報ふなばし写真版

市民スポーツ・文化活動の新拠点

総合体育館オープン



1月25・26日に行われたオープン記念婦人バレーボール大会の松和クラブ対若松クラブ戦。早速、明るい歓声がアリーナに響きわたっていました 2



メインアリーナで行われた落成記念式典で、約500人の皆さんを前にあいさつする大橋和夫市長



屋内温水プールには一般用のほかに、幼児用プールもあります



新成人の皆さんにも記念になる1日でした



調節池を人工地盤で覆った多目的運動広場



広く機能的なエントランスホール。展示の会場としても利用することができます



落成記念式典のアトラクションで、すばらしい演技を披露してくれた、姉妹都市オーデンセ市のデンマーク体操チーム



大橋和夫市長をはじめ、関係者の皆さんによって行われたテープカット



ヨーン・ニールセン団長から船橋市に体操用マットが寄贈されました



落成記念のテープカットが終わり、来賓の皆さんが次々とメインアリーナに入場しました

場としても利用されます。全国でも、これほど様々な施設・設備が充実した総合体育館は少ないようです。

また、総合体育館の運営は、県内では初めて文化とスポーツの両面にわたった事業を受け持つ財団法人として設立された「船橋市文化・スポーツ公社」が担当。様々な企画展やスポーツ教室も実施していきます。全国的にも有名になった「スポーツ健康都市船橋」が総合体育館の完成によって、さらにジャンプ・アップしました。

第1棟のメインアリーナは、バスケットボールコート3面の広さをもち、観覧席は固定式と可動式を合わせて約5000席。さらに観覧席上方には、2台のカラー大型映像装置が備えられ、県内でも有数のアリーナとなりました。

第2棟には、サブアリーナをはじめ屋内温水プール、各種武道や展示会など幅広く利用できる多目的室、卓球室、弓道場、トレーニング室、情報室、展示ホール、会議室等々、スポーツ・文化活動の施設がズラリ。

多目的運動広場は、調節池の一部に人工地盤を設置したもので、8300平方メートルの広場に、砂入り人工芝が敷かれ、サッカーやソフトボールなどが楽しめるほか、約400台分の臨時駐車

習志野台下水処理場跡地（習志野台7丁目）に、待望の総合体育館がオープン（1月13日）し、2月から一般利用が始まります。

この体育館は、「人もまちも健康でありたい」との願いから、船橋市が昭和58年に行った「スポーツ健康都市宣言」を記念して建設されたものです。

敷地面積は約3万2000平方メートル。総工費は約135億円。メインアリーナの第1棟と様々な体育施設などを備えた第2棟、そして多目的運動広場で構成されています。

メインプラザに設置された、佐藤忠良氏制作のブロンズ像「蒼」



1月15日には、総合体育館完成後初の公式行事として成人式が行われ、新成人の皆さんが大勢話の掛けました



とくしゅう
PART 2

全国高校駅伝競走大会で
市船女子が都大路
を快走

3年連続2区を走る水内聡子選手。駅伝ファンに多くの夢を与えてくれました

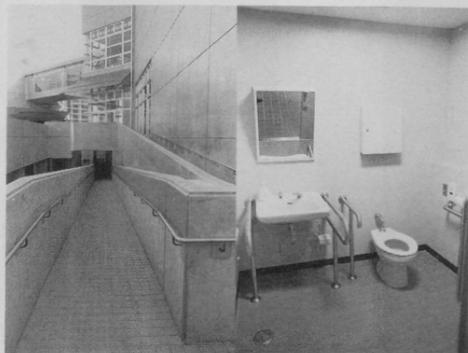


応援に駆け付けた陸上部員たちの笑顔は、選手の心強い味方です

師走の都大路で健脚を競う全国高等学校駅伝競走大会が、昨年12月26日、京都市で行われ、千葉県代表の市立船橋高校女子チームは、前回市船が出した優勝記録を12秒短縮する1時間8分14秒の大会新記録で3位入賞を果たしました。これで、第1回大会から5年連続上位入賞。ロードに強いという市陸上部の伝統を見事に守り、市民の熱い期待に応えました。



リズムエクササイズ室のエアロビ教室は女性に大人気



車イスの方でも、スロープとエレベーターを利用すると、館内のすべての施設へ行くことができます
中に入ると、照明が自動的に点灯する身障者用トイレ。第1棟、第2棟の各階に設置されています



色々な屋内スポーツが楽しめるサブアリーナはバレーボールコート2面の広さ



5人立ちの弓道場



トレーニング室では、インストラクターの指導が受けられます



6台の卓球台が常設される卓球室



スポーツ文化情報室には、200本のビデオや専門書がそろっています



屋内温水プールは25℃ 6コース。水温は29℃に保たれ、底のランプが移動するペースメーカーも2コース分設置されています

総合体育館
の電話番号 0474
61-5611



普段は静かな八坂神社の境内

南北に台地が迫り、その狭間に谷津田が深く入りこんでいる。谷津田に沿って一本だけ農道が走り、その道沿いに農家が点在していた……そんな往昔の集落では、もう中野木は無い。農家は立派なお屋敷に生まれ変わり、新住民のマイホームがたくさん建った。とは云うものの、この集落には他の高根町や飯山満町・美師堂切通し付近など同様、都市化の進む本市の中にあつて、今なお貴重な自然や文化、あるいは集落形態までも残されているように思える。坂道を登ると、竹林の中に山椿の赤い花が二つ、三つ……これもそんな昔ながらの風景の一つだろう。坂の途中、右手に石の鳥居が現われ、その傍らに樺の古木が一本立っていて、集落の鎮守・八坂神社である。云うまでもなくあの有名な、京都の「祇園さん」のお社だ。境内は広くない。入ると御神木でもあろうか、市内には多分珍しいアカガシの老樹が三本ほど。続く裏手の森林は「中野木公園」(「民有地」)のようだ。こどもたちには恵まれた遊び場になっている。本殿の彫刻に感心する。親孝行のタケノコ掘りの図など見ていて楽しい。さらに境内に築山があり、登山記念碑(昭和七)、仙元宮の小さな石祠が建っている。(文・大木 勲)

まちなかの文化財
八坂神社
(中野木町)



境内の横には、アカガシなどの大木が立っている



各校の強豪たちと1区を走る2年生の横塚佐知子選手(ゼッケン12番)



2区の水内聡子選手から3区の市河麻由美選手へ。市河選手は、9分43秒という見事な走りで区間賞を獲得しました



会心の走りを見せた三田選手。先輩たちからのねぎらいの言葉にニコリ



閉会式では、選手の皆さんに賞状やメダルなどが贈られました



船橋駅コンコースのマルチビジョン前でレースのゆくえに注目する市民の皆さん



ミーティングを終え、楽しい夕食の一時



いよいよ明日は大会。思いを込めてユニホームにゼッケンを縫い付ける選手の皆さん



4区を9分11秒で駆け抜け区間新に輝いた三田有貴子選手からアンカーの田辺雅美選手へ

全国高校サッカー選手権に出場 市船イレブン



中盤からのパスでゴールを脅かす市船フォワード



高槻南のディフェンスと激しい競り合いをする市船イレブン

1月2日から県の陸上競技場などで開幕した第72回全国高校サッカー選手権大会。千葉県代表として7度目の出場を果たした市船イレブンは、1月3日高槻南高校(大阪)と対戦しました。前半17分森崎嘉之君が先制のゴール。その後同点とされたものの終始市船ペースで進みましたが、試合は1対1のまま終了。PK戦の末2対3で敗れ、3回戦進出はなりません。観客席からは惜しみない拍手が送られました。



2位でゴールインするアンカーの田辺選手

今回の市船は、スタート前から厳しい展開が予想されていた。主将の中人幸子選手(3年)の調整がつかず欠場したからだ。中人選手の将来を考えた鈴木秀夫監督の配慮でもあった。1区は、3区を走る予定だった横塚佐知子選手(2年)。初めて走るこの1区で、あわてずに自分のペースを守って8位でタスキをつなぐ。2区は、3年連続2区を走る水内聡子選手(3年)。鳩山高校(埼玉)などを抜き力走。第2中継点では、わずかの差で埼玉栄をかわして順位を5位とした。今回初めて都大路を走るという3区市河麻由美選手(2年)は、ラストで熊本信愛女子をかわし3位へと浮上、9分43秒で区間賞を獲得した。7秒先を走る2位熊本市商が見えてきた。4区は、三田有貴子選手(3年)。1.4キロ付近で熊本市商をとらえ、2位までランクを上げた。記録も、自ら持つ昨年の区間記録を1秒縮めて、9分11秒で2年連続の区間新。アンカーは、田辺雅美選手(2年)。トップの仙台育英を追い切れず西京極陸上競技場のゲートにぐぐったとき、その背後には熊本市商の上妻選手が迫っていた。歓声のなか、激しいデッドヒートとなったが、あと150メートルというところで3位となりゴールした。記録は、昨年の市船が優勝したときの大会記録を12秒縮める1時間8分14秒と大健闘。ゴール直後には涙を見せていた選手たちも、閉会式には笑顔が戻っていた。チーム全員がベストを尽くした、さわやかな3位だった。



レスキュー隊と救急隊の連携で無事負傷者が救出されました



消防車両10台による一斉放水で幕を閉じました

災害のない1年を願って 消防出初め式

消防局員や消防団員など総勢1000人を集め、新春恒例の消防出初め式が、1月12日、船橋オートレース場駐車場で開催されました。まず、開会式では、沼田知事など来賓の方々があいさつに立ち、消防関係者の日ごろの努力をたたえました。続いて、消防防災活動に貢献された皆さんへの表彰が行われた後、若鷲会の皆さんによるはしご乗りや、自衛消防隊の皆さんによる屋内消火栓操法、そして、レスキュー隊と救急隊による自動車火災からの救出訓練など巧みな模範演技が行われると、会場に詰め掛けた市民の皆さんから、感嘆の拍手がわき起こっていました。

75チームが一斉にスタート 成人の日記念市民駅伝

第1中継点（JA船橋）で続々とたすきが



伊藤包船橋市体育協会会長から優勝カップを受け取るNTTRCチーム

1月15日、成人の日記念市民駅伝大会が行われ、午前9時運動公園陸上競技場を一斉にスタートしました。中学、高校、一般の部に合わせて75チームが参加。市内を1周する7区間23.3kmのコースで熱戦が繰り広げられました。その結果、中学の部は御滝中学校、高校の部は市立船橋高校、一般の部はNTTRCが見事優勝を飾りました。



仲良しのみんで滑るスケートは楽しいよ

子供たちが冬を満喫 市民スケートリンク

12月11日、運動公園に市民スケートリンクがオープンしました。昨年の夏、およそ3万5000人の皆さんが利用した市民プールで、冬の間はアイススケートを楽しんでもらおうというもので、2月28日まで無休で開場されています。オープン当日はチャリティー開催で、たくさんの方を集め、売り上げが社会福祉協議会に寄付されました。

第28回 生活展

1月26日から31日まで、西武百貨店船橋店で生活展が開催されました。これは、市内の消費者団体が暮らしの中の様々な問題について研究した成果を発表する場です。28回目を迎えた今回のテーマは、「生活大市」。市消費対策課をはじめ、企業や各種団体など21団体が参加し、アトラクションコーナーでは料理教室なども行われました。どのコーナーも生活に密着したものだけに、訪れた皆さんも一つひとつ熱心に見入っていました。



環境にやさしい生活を紹介しますコーナー



身近にできるやさしい防災対策も紹介されました



船橋市高瀬下水処理場建設予定図



船橋市公共下水道高瀬下水処理場起工式

高瀬下水処理場の完成予想図

エイッ、エイッという掛け声で行われた土入れ式

市単独では日本最大級の規模 高瀬下水処理場が着工

市内中央部の下水を処理する高瀬下水処理場の建設にあたり、12月15日起工式が行われました。大きな掛け声とともに行われた土入れに続いてあいさつに立った大橋和夫市長は、「都市基盤整備において重要なこの下水処理場が、少しでも早く完成するよう努力していきます。」と話しました。この処理場は、敷地面積21.1ヘクタール、全体計画の処理能力は1日20万2000立方メートル。市単独の処理場としては、全国でも最大規模のものとなります。整備は4期に分けて行われ、第1期工事は管理棟や沈砂池ポンプ棟、水処理施設などの施設を建設します。管理棟には、絵画などが展示できるギャラリーや見学コースを設けるほか、水処理施設の上部に人工地盤を利用した、約4ヘクタールの多目的広場を整備して、土地の有効利用を図る計画です。高瀬処理区は市の公共下水道計画区域全体の約45%を占め、人口も最も集中している地域。平成10年度に第1期工事が完了し、利用が開始されると、船橋市の下水道普及率も飛躍的に向上するものと期待されます。

暮れの風物詩 第九演奏会



平和と自由への賛歌「第九」が新年へ向け高らかに演奏されました

暮れの風物詩となった第九特別演奏会が、12月5日、市民文化ホールで開かれ、会場に詰めかけた大勢の第九ファンを魅了しました。昨年9月から練習を重ねてきた船橋第九合唱団160人の皆さんにとっては、この日が晴れ舞台。家族や友人が座る客席を目の前にして日ごろの成果を思う存分披露すると、会場から割れるような拍手が起り、すばらしい演奏や合唱をたたえていました。



元旦マラソンで走らないと、一年が始まらないという人もいました



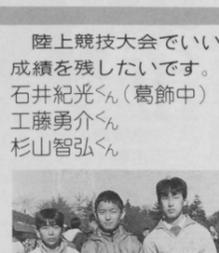
表彰台にさわやかな笑顔が並びました

1月1日、新春恒例の市民元旦マラソンが開催されました。好天とはいえ凍えるような寒朝、運動公園陸上競技場に集まったランナーは総勢1269人。中学生から79歳まで幅広い世代の皆さんが、白い息を弾ませながら力走を見せてくれました。今年で37回目となったこの大会。これに出場しないと一年が始まらないという常連の方もたくさん参加していました。完走した皆さんの額に輝く汗とさわやかな笑顔がとても印象的でした。

新年に健脚を競う 市民元旦マラソン大会



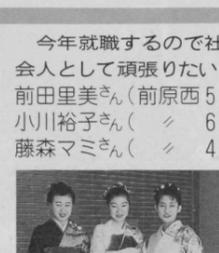
結婚半年で夫の体重が少し増えたので気を付けてあげたいです。宮山順一郎さん(東船橋1) 智恵美さん



陸上競技大会でいい成績を残したいです。石井紀光くん(葛飾中) 工藤勇介くん 杉山智弘くん



自治会の会館建設委員長として様々な面で建設へ向けて努力していきたいですね。永井正泰さん(みやぎ台)



今年就職するので会社人として頑張りたい。前田里美さん(前原西5) 小川裕子さん(/ 6) 藤森マミさん(/ 4)



体育館ができたのでスポーツを始めたい。山口のみ子さん(習志野台4) 広太郎くん(3歳) 夏苗ちゃん(1歳)

市民ひとことインタビュー 今年やってみたいことは?



ユーモラスでテンポのある舞台に、満員の観客の皆さんは大満足

昨年高校演劇日本一に輝いた、県立船橋二和高校演劇部の定期公演が、1月9日市民文化ホールで開催されました。4か月前から取り組んできた新作は、佐野洋子さん原作の「100万回生きたねこ」。ユーモラスでテンポのある舞台に、満員の観客の皆さんも大満足の拍手を送っていました。また1月15・16日、山梨県で行われた関東大会に出場し、惜しくも第2位となりましたが、8月に松山市で開催される全国大会出場切符を手に入れました。これから半年かけてさらに手を加え、今年の全国大会でも最高の舞台を披露してくれるでしょう。

関東大会第2位、全国大会へ
船橋二和高校演劇部

定期公演

新成人の門出を祝う
灯明台祭



今年成人式を迎える皆さんの手で灯明台が点灯されました



身を切るような寒さにもかかわらず、境内には大勢の皆さんが集まりました

1月14日、灯明台祭が船橋大神宮の境内で開催されました。これは成人を迎える皆さんの門出を祝おうと毎年行われているものです。新成人の男女4人が灯明台を点灯し鏡開きが終わると、甘酒やお雑煮が配られ、詰め掛けた皆さんは大喜び。神楽殿からは祝いもちもまかれ、大きな盛り上がりを見せていました。



広大な中国大陸を思わせる楊琴と胡弓の演奏

中国・西安市との交流5周年を記念して
楊琴・胡弓のコンサート

船橋市と中国西安市は、昭和63年4月に友好交流促進合意書に調印し、以来、気功や囲碁、卓球、経済交流など、様々な分野にわたり友好を深めてきました。この合意書締結5周年を記念して、12月3日、楊琴と胡弓のコンサートが勤労市民センターで開催されました。主催は、船橋市日中友好協会。中国の演奏家二人が演奏を始めると、中国の楽器特有の高く澄んだ音色が場内を包み込み、会場を埋め尽くした皆さんは、広大な中国大陸を思い浮かべるかのように静かに聞き入っていました。

新年に彩りを添えて
'94初春華道展



大勢の皆さんでにぎわう華道展

1月6日から11日まで、新春船橋華道展が、東武百貨店船橋店で開催されました。流派をこえた作品が一堂に会し、新春を華麗に彩る催しとしてすっかりおなじみのイベントになりました。会場には龍生派や草月流など、30の流派の作品が、大小80点ほど展示されました。会場を訪れた皆さんは、各流派の作品が織りなす伝統美の競演に魅了されていました。



初日には大橋和夫市長をはじめ、関係者の皆さんによってテーブルカットが行われました



ペルーのギタリスト親子によるミニコンサート

中国人画家の似顔絵コーナーは大人気

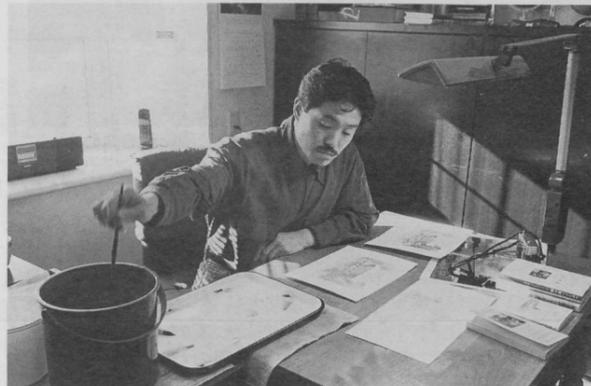
街まちかど角
ホットニュース

皆さんからの情報をお待ちしています。

▶ 広報課 ☎ 36 2015

市民レベルの国際交流
FINE DAY

12月12日、船橋駅北口おまつり広場でFINE DAY (Funabashi International Nice Exchange DAY) が開催されました。これは、船橋市国際親善の会が国際交流の輪を広げようとしたもので、会場では、中国人画家による似顔絵コーナー、ゲームコーナー、模擬店などが並び、ペルーのギタリストのコンサートやばか面踊り、マジックショーなども披露されました。



イラストレーター
佐々木悟郎さん
(習志野台6)

赤、青、黄：パレットの透明水彩絵の具を巧みに混ぜながら、紙面に色を落とす。水を含んだその色が乾かないうちに次の色をのせる。そして次の色も。さらににじんで混じり合い、やがて赤味を帯びた青と緑の独特の色調の世界が現れる。まるでマジシャンのようその筆先から描き出される風景や静物画は、極めて精巧で写実的な部分と、ホカとして簡略化された部分とが、その色彩とともに不思議なバランス美を醸し出している。今回は、そんな夢空間を描くイラストレーター佐々木悟郎さんの習志野台の自宅を訪ねた。玄關に入ると右手の階段を上がる。階段脇の窓や廊下の壁には、小さな置物や額がさり気なく飾られている。2階の突き当たりが居間になっていて、その入り口には、アンティークの小物入れがぎっしり入ったガラスのキャビネットがあった。居間には、大きな窓から暖かな陽光が差し込んでいる。左隣に大小様々な人形が収められたガラス張りのケースがある。右手の奥の部屋

アトリエ訪問

「マディソン郡の橋」のCDジャケット制作中の佐々木さん



壁などに様々なアンティークの小物が飾られている

「私の宝物なんです。」と言って、クラシックカメラを出した。全部で10台。ライカやビテッサ、レチナを持ち歩き、モノクロ写真を撮ってイラストの資料にするそうだ。「写真の話になると、つい熱が入ってしまうんです。」とニコリ。「これからは、カーテンやステーションナリーなど、生活の中にイラストを取り込んでいきたいですね。」佐々木さんのイラストをプリントしたTシャツやトレーナーの製品化が、今着々と具体化しつつある。

に平机が見え、そこがアトリエになっている。10畳程の広さで、両サイドに焦げ茶色のキャビネットが並び、窓を背に平机と脇机が置かれている。机の上にはスタンドと小さなパケツ、30cm x 20cmほどのパレット、そして2本の細筆。机と対面した壁際には、作品を収納する大きなマップケース。部屋の中は見事に整頓されている。「部屋はきれいにしておかないと気が済まないんです。仕事は、回転が早く1週間が勝負。どんな整理しないと分からなくなりますがね。」質問にも、テキパキと資料や作品を出して分かりやすく説明してくれる。白い壁やキャビネットの上には、たくさんアンティークの小物がきれいに並び、「私は収集癖があるんです。」とは言っても、すべてがイラストの対象だ。佐々木さんの仕事は、ブックデザインやポスターが多い。朝6時に起き、午前中のうちに一気にイラストを描く。「1日3枚が限度ですね。誰が見ても分かりやすいということを大事にしています。」

船橋在住の中国画家
毛奇さんの画展

1月11日から16日まで、船橋市民ギャラリーで、中国画家・毛奇さんの画展が開催されました。展示された作品は、暈程の大作を含めた彩り豊かな絵画や書、掛け軸など全部で56点。毛さんは上海市の出身で、船橋市の「少年の船」が上海市を訪れたことがきっかけとなり、5年前から船橋に住んで、創作活動を通じた日本と中国の文化交流に活躍されています。



成人式の帰りに振り袖姿で作品に見入るお嬢さんもありました

ふしびの民話

若き日の
鈴木鷲湖

文・村上昭三



石井鼎湖が描いた鈴木鷲湖の肖像画

これは江戸時代末頃の話だということです。金堀村に通称漸三という働き者で絵の好きな若者がいました。この漸三は、隣村の神保新田の名主様に仕事を頼まれました。名主様の家にやって来た漸三に、土間で今か今かと待っていた名主様は「漸三、今日は庭の向うに積んでいる雑木で薪を作ってくれ」と言って、薪作りの仕事を言い付けました。漸三はすぐに仕事にとりかかりました。そしてお昼になり、昼食を食べ、縁側でお茶を飲んでいました。その時、居間で書類を見ていた名主様に、不意に「名主様、おらに紙と筆を借して下せえ。奥の庭に咲いている寒椿を、ちよいと画いてみてえだ」と言いました。



三の絵をのぞきました。その瞬間、凍と輝く見事な絵にびっくりしました。そこで感心した名主様は「漸三、これはいい絵だ。お前はこの土地で百姓になるより、江戸に出て、絵画きになった方がいい」と、漸三に画家になることを勧めました。漸三は画家になることを心に決め、江戸に出て、修業を積みました。そして、後に鷲湖と名乗る大画家として大成したということです。また、明治時代の画壇に幹部として名を連れた石井鼎湖(画家)、更に近年まで本邦の美術界の重鎮として活躍した石井柏亭(画家)と鶴三(彫刻家)の兄弟は、漸三即ち鷲湖の実の子であり、孫だということです。

これを聞いた名主様は、即座に何枚かの半紙と筆一式を渡し、来客で奥の方に持ってしまいましたが、それから一時は過ぎ、名主様が戻って来ましたが、縁側に立って漸三はと見ると、薪の棚の上に腰をかけた、時間を忘れて絵を画いている後ろ姿が見えました。これに少しむつまじった名主様は、そーっと行って漸



14年前に、金沢から娘さん一家が住む船橋に引っ越して来たという松林さん。金沢では5年程水墨画を習っていたそうです。船橋に来てから、日本画を習いたいと思って、太田歳先生の教室に通うようになりまし。現在でも、その仲間「金曜会」というグループを作って、毎月1回法典公民館で勉強会を開いています。

「昨年の市展では会員賞を受賞、いつも身近な花や風景を題材にして描くのはだいたい朝のうち、たまに御滝公園へスケッチに出掛けるとか。海が大好きなんです。いつか犬吠崎の絵を描きたいですね。」30号の作品を仕上げたのに3か月掛かっているそうです。「とにかく描くことが楽しくて、可愛なお孫さんを描くときは、とても力が入りますと目を細めていました。」

ART 日本画

絵を描くことがとても楽しいんです

松林よ志子さん(みやぎ台4)



色のバランスに
気をつけています

岩崎 愛さん(前原東6)

ページのハーフコートに黒いブーツ姿で登場の岩崎さんは、今年成人式を迎えた学生さん。コートの下は淡いクリーム色のニットスーツで、肩に花柄のスクエアポイント。アクセサリは、可愛い真珠のピアスとシルバーのブレスレット、そしてお気に入りのネックレス。洋服は口紅やバックも含めて色のバランスを考えます。水色や茶色が好きですね。買い物は津田沼や渋谷で、一通り見てから決めるのが、「物を作ったり体を動かすことが大好きで、毎日が充実しています。」今年はカリフォルニア州立大学ハイワード校に留学。博物館学芸員の資格を取りたいと、しっかりと将来を見つめています。

まいふあこしよん



小川夕星水墨画教室
勤労市民センター

「私は皆さんに技法を教えるだけなんです。後は、一人ひとりの感性で描けるように頑張ってもらいたいですね」と小川夕星先生。昨年の5月に始まった水墨画教室では、現在14人の会員の皆さんが毎月第2・4火曜日にけい古に励んでいます。微妙な墨の濃淡が分かるように、お手本はコピーでなく、先生が1枚1枚描いたものを使っています。「会員の半数以上の方が初心者ですが、皆さんとても熱心なので、来年の6月ごろには、市民ギャラリーで展示会が開けるくらいに腕が上がるでしょう。」と先生からお墨付きができました。

(連絡先: 小菅喜久枝 ☎47-8009)

いつかみんなでスケッチに行きたいですね



おけい古のたびに新しいお手本を使います



いつも笑顔が絶えません



誰でも、気軽に、楽しくできていいですよ

サークル
通信

みんなの広場

みんなで和気あいあいとおけい古しています



去年のバスハイクは北澤美術館と千葉市動物公園に行きました

昭和52年ころ、北部公民館で開催された編み物教室が母体となって発足した「北部手編みサークル」。現在21人の会員の皆さんが、毎週木曜日にけい古に励んでいます。編み上げた作品は、自分で着たり、親せきや友人にプレゼントしますが、公民館の文化祭にも出品しています。明るく楽しい人ばかりなので、年1回のバスハイクの他、食事会、カラオケなど親睦行事も盛りだくさん。「会員同士とても仲良しだから、近所に新しい公民館ができて、このサークルはやめられないですね。」と会員の皆さん。新会員はいつでも募集しています。

(連絡先: 佐藤恵美子 ☎48-7946)

北部公民館
北部手編みサークル

講堂に入ると笑顔と歓声があふれていました。三田トリムクラブは今年20周年を迎えるクラブで、現在会員は50人。30代~70代と幅広い年代の皆さんが、毎週金曜日に集まって汗を流しています。内容はストレッチとランニングでウォーミングアップした後に、ホッケーやソフトボール、ミニサッカーといったボールゲームなど、毎週違ったメニューに取り組みます。「ストレスを解消し、若々しくなるのはもちろん、スポーツを通じて地域、職業、年代を越えたお付き合いができるのが、私たちの何よりの宝です」と会員の皆さん。現在会員募集中。年齢不問、見学大歓迎です。

(連絡先: 徳武民子 ☎66-2140)

三田公民館
三田トリムクラブ



釣具 スズハル

宮本 2-14-31
☎0474(33)6730

店を開いて今年で21年目というスズハルは、海老川河口にある釣具店です。店内には、リールやさお、仕掛けなど、所狭しと並べられています。これだけ海に近い釣具店なのに、へら鮎、ヤマメなど川釣りの道具も充実しています。その釣、合わせて約5万点、それでも充分ではないといえます。お客さんは地元だけでなく、印旛郡や八千代、それに、貨物船に乗って船橋港へやって来る外国の方々も多いとか。

「人気なのは、サヨリの投げ釣りの仕掛け。ウチのオリジナルで、よく釣れると評判です。また、子供たちがお小遣いで楽しめるように、安い道具もたくさんあります。昨年9月ごろから、初心者の方が増えてきましたよ。1時間に1匹しか釣れなくても釣りが楽しいのは、獲物捕るのが人間の本能だからでしょう。」

こう語るのは、ご主人の鈴木一春さん。釣り歴は30年以上になるそうです。仕掛けやポイントなど、釣りに関する情報には自信があるそうです。

あいらぶふなばし



活気にあふれていて
住みやすいまちですね

嶋谷シャロンさん(大穴南1)

「とっても活気にあふれていて、住みやすいですね。」船橋に住んで2年になるシャロンさんは、カリフォルニアのご出身です。大の和食党で、お刺身や納豆、めんたいこなど何でもいけるとか。「週1回作る洋食も、つい和風の味付けになってしまっんです。」とシャロンさん。日本人のご主人にも好評だそうです。小さいころから花が好きで、今は生け花を習っています。

「日本の生け方は、角度によって見え方が違うところが、とてもおもしろいですね。」漢字にも大変興味があり、一生懸命勉強中。「画面に字幕が出る演歌のTV番組は、とても役に立って、つい口ずさんでしまいます。」と苦笑。新聞を読むようになってのが目標というシャロンさん。住めば住むほど、陶芸など日本文化への思いが広がっていくそうです。



「姉川の合戦」

第27回老人クラブ会員作品展で
小田切さん(永楽会)が
知事賞

1月18日から千葉県立美術館で開催された第27回老人クラブ会員作品展で、坪井町の小田切武さん(78歳)が、手工芸の部で知事賞を受賞。この作品展での知事賞は船橋で初めて。空缶を使った「姉川の合戦」という作品で、金婚式を記念して創作したそうです。

あ
と
が
き

◇とくしゅうPART1で紹介した総合体育館。1月13日に落成式典を行い、20日から26日まで無料開放となりましたが、開放する前からここを見学に来る人の姿がたくさん見られました。

(例)船橋市文化スポーツ公社が実施するスイミングとエアロビクスの教室は、募集して即日満員。無料開放でもソフトエアロスクールやファミリー体操教室、ブルバド、卓球などに、幅広い年齢層の市民の皆さんがたくさん詰め掛け、特にトレーニング室の講習会は順番待ちがでるほど。事務室にも問い合わせが殺到しています。市民の皆さんの総合体育館への期待と、健康についての意識の高さが改めて感じられました。

一般利用は2月1日から始まりますが、テレビ広報「船橋たより」(千葉テレビ放送)でも、2月27日と3月27日の日曜日に正午から総合体育館についての情報をお届けします。ぜひご覧ください。



ボク、自動車が大好き。まちで見かけたら声を掛けてね

ペット
インタビュー

なまえ

健太
(ボメラニアン犬)

オーナー

萩原勝利さん
(金杉8)

僕の名前は健太。高倉健と菅原文太の名前をとって健太。ご主人の娘さんがつけてくれたこの名前、とてもリリシイでしょ。この4月で2歳になるんだ僕。人間で言えば立派な成年男子。成人式があれば、僕の自慢のふさふさした毛とつぶらな瞳を見せられるんだけど残念。僕の好物はホタテの貝柱とササミのジャーキー。ピールのつまみにもいいよね。ところで寒い日が続いているけど、みんな大丈夫?僕の健康法を教えるね。毎日朝晩散歩することと、よく睡眠をとること。それも、ご主人とあったかいお布団に寝るのが一番。でもご主人寝不足みたいよ。僕のイビキすごいんだって。そのかわり毎朝6時15分に必ず起こしてあげるんだ。目覚まし時計より心強くて感謝されてるよ。まだまだ寒い日が続くので、みんな体に気をつけて下さいね。

姉妹都市
 アンデルセンの故郷オーデンセ市から

デンマーク体操チーム来船



トランポリンを使ったデモンストレーション。本番を2日後に控え、練習に熱が入る

1月11日、運動公園でデンマーク体操チームの公開練習が行われました。この体操は、チームワークを大切にしたりズミカルな柔軟体操や跳躍運動を基本としています。この体操チームの皆さんは、船橋市の姉妹都市、デンマークのオーデンセ市から総合体育館の落成式に参加するために来船したもので、ヨン・ニールセン団長以下27人。マットや平行棒、縄などを使った演技は、迫力満点。コミカルな演技も披露するなど、会場は拍手と歓声に包まれました。また、午後からは坪井中学校生徒会の歓迎会にも出席、言葉をこえた交流で友好を深めました。



坪井中学校の生徒代表青藤綾乃さんから歓迎の花束を受け取るヨン・ニールセン団長

第15回船橋市写真展 作品募集

- ◎会 期：3月23日(水)～3月27日(日)
- ◎会 場：船橋市民ギャラリー
 (船橋スクエア21ビル3階)
- ◎作品搬入：3月15日(火) 15時～20時 直接会場へ
- ◎搬出日：3月27日(日) 17時～18時
- ◎出品料：無 料
- ◎出品資格：市内在住・在勤・在学の16歳以上の方
- ◎部 門：モノクロ単写真の部、組写真の部、
 カラー単写真の部
- ◎作品規格：単写真→4切以上全紙まで
 (額装) 組写真→横 120cm、縦 150cm以内
- ◎テ ー マ：自由 (ただし、未発表の作品)
- ◎審 査 員：佐々木 崑氏、北井一夫氏 他
- ◎出品点数：1人各部門1点
- 問い合わせ：教育委員会文化課 ☎36-2894



スポーツで健康ふなばし
 こんにちは…